

第2回歴史探訪

祖国平和統一を願う 「賢仁会」 石の宝殿・鶴林寺 探訪

石の宝殿

- ★播磨国風土記（715年和銅時代、元明女帝が『風土記』の編集を諸国に命じ産物、伝承などを記載させた。）に、からかみやしろ、韓神社として地元の古老の話にでている。
- ★謎の建造物で、いつ、誰が、何の目的で作ったものかわかっていない。
- ★はるか上古の時代（縄文人や弥生人以前）韓半島から渡来した人々及びその子孫らの集団の手によるものと思われる。
- ★兵庫県人（あるいは在日）なら歴史的、考古学的に一度は見ておくべきである。

鶴林寺

- ★播磨の法隆寺といわれている。
- ★韓半島の僧、恵便法師（6世紀中頃、渡来）が12才当時の聖徳太子に仏教を講じている。
- ★天平時代（6世紀後半）百濟系氏族出身の行基菩薩とも深い関わりがある。
- ★多くの国宝、重文を有し、わが国最大規模の宮殿、堂塔伽藍が建立されている。

日時 2009年11月21日（土）

場所 石の宝殿
鶴林寺

集合場所 JR加古川駅

集合時間 AM11:00



主催 賢仁会
後援 FPU兵庫県本部
連絡先 080-1487-5386（担当 福田）